

令和4年度（令和5年3月期）

# 事業報告書

（令和4年4月1日から、令和5年3月31日まで）

令和4年度（令和4年4月1日から、令和5年3月31日まで）に実施した主な事業は下記の通りです。

## 1. 公益目的事業の実施状況

### 公益目的事業

公1	公2	公3	公4	公5	公益共通
『タイ国情報』発行	書籍刊行	講演会・セミナー	日本語書籍寄贈	図書館	HPを通じた情報発信

#### (1) 機関誌『タイ国情報』の発行（隔月発行）および復刻事業 [公1]

① 『タイ国情報』は年間6回（令和4年3・5・7・9・11月号、令和5年1月号）の定期に刊行しました。タイの政治、経済、社会から文化、生活に至るまで、幅広くタイムリーなテーマをお届けできるように、執筆者の方々と相談を重ねながら発行しております。

② 政治面では、2022年11月にAPEC首脳会議がバンコクで開催され、プラユット首相にとって内外にアピールする絶好の機会となりました。その後、同首相は与党、国民国家の力党への影響力が低下したこともあり、新党に参加し、2023年5月の総選挙に臨みました。選挙では若者の支持を受ける前進党が躍進、今後連立に向けた動きが予想されます。

③ 経済面では、タイ国家経済社会開発委員会によれば、2022年の実質国内総生産（GDP）は、前年比2.6%の増加となりました。好調だった輸出の勢いが衰え、事前予想（3.2%増）を下回りました。タイ中央銀行は3月、2023年の成長率を3.6%増と予想しています。コロナウイルス関連の渡航規制を撤廃した中国からの観光客の増加が期待されています。

④ 社会面では、コロナウイルス関連の入国規制が撤廃され、タイを訪れる方が増加しています。2023年4月、タイ正月・ソンクラン祭りが盛大に実施され、各地で人々が水を掛け合うイベントが報道されました。タイと日本の各地を結ぶ航空便が復活しており、両国の交流再拡大が期待されます。

⑤費用（直接費用のみ、人件費等配賦費用は除く）は、通常ベースの年6冊発行で合計3,324千円（印刷製本費1,840千円、諸謝金・執筆料1,332千円、通信費152千円）となりました。ページ数増加、印刷費上昇もあり（令和3年度122ページ⇒令和4年度134ページ）印刷製本費が150千円増加、新しい執筆者にご寄稿を賜り、執筆料は203千円増加しました。1回あたりの平均発行費用は554千円と、令和3年度比57千円の増加となりました。引き続き、内容の更なる充実を図って参ります。

『タイ国情報』直接費用 （単位：千円）

		令和4年度	令和3年度	増減
合計		3,324	2,981	+ 343
内訳	印刷製本費	1,840	1,690	+ 150
	諸謝金（執筆料）	1,332	1,129	+ 203
	通信費	152	162	▲ 10
1回あたり平均発行費用		554	497	+ 57

平均ページ数

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
ページ数	149	156	165	136	119	132	107	119	122	134

⑥『タイ国情報』は研究資料としても活用されるよう、また、当協会の認知度が高まるよう、会員のみならず、大学・公立図書館、大学研究室、研究機関などへの納本を継続しています。

・配布先数： 約360カ所

（うち、図書館・大学研究室、研究機関、高等学校など、約150カ所）

⑦有料配布（書籍販売）については、49千円となりました。内山書店様に販売いただいています。

有料配布金額 （単位：千円）

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
有料配布	146	101	111	93	81	73	62	109	90	49

(2) 書籍刊行事業 [公2]

令和4年度は、書籍刊行実績はありませんでした。

(3) 講演会およびセミナー開催事業 [公3]

令和4年度は、以下の通り4回の講演会を開催しました。当協会の法人、個人会員のみならず、タイの関連団体やタイ研究に従事されている皆様が多数ご参加くださいました。タイの経済・社会・文化をテーマに専門家の先生方にご講

演いただきました。コロナ渦のため、会場での開催は出来ませんでしたが、オンラインの利点を活かし、タイ及び日本の各地からご参加をいただきました。

< 講演会の概要（講師の所属、肩書は講演当時のもの） >

- ① 令和 4 年 4 月 11 日「タイにおける日本のポップカルチャー：過去と現在」  
講師：石川 ルジラット氏（青山学院大学 総合文化政策学部助教）
- ② 令和 4 年 7 月 14 日「タイ経済の現状と先行き」  
講師：江川 暁夫 氏（桃山学院大学 経済学部教授）
- ③ 令和 4 年 10 月 4 日「タイ現代文学入門～物語と書店から見るタイ社会～」  
講師：福富 渉 氏（タイ文学研究者・翻訳者）
- ④ 令和 5 年 1 月 26 日「人口動態が語るタイ経済社会の現在位置と未来」  
講師：大泉 啓一郎 氏（亜細亜大学 アジア研究所 教授）

(4) 日本語書籍寄贈事業 [公 4]

タイで日本語教育を行なう中高校・大学などに日本語書籍を送るプロジェクトは、日本側、タイ側でのご協力も得て、実施してきました。タイにおける日本語教育機関数は、現在、約 650 校に上ります。コロナによるタイへの渡航は出来なかったものの、国際交流基金バンコク日本文化センターの協力を得て、同基金から派遣されている日本語パートナーズ教員がいらっしゃるタイ各地の学校 48 校に、寄贈を致しました。

【寄贈書籍】

- ① 「レベル別日本語多読ライブラリー」レベル 0 及びレベル 1
- ② 楽しく遊び学ぶ にっぽんの図鑑

本事業は 12 回実施致しましたが、受け入れ校側のニーズにも変化があるようです。現地でご活躍されている日本語パートナーズ（国際交流基金より派遣）の先生方のご協力をいただきながら、引き続き寄贈した日本語書籍が有効にご活用されるように取り組んで参ります。

(5) 図書館の運営事業 [公 5]

令和 4 年度末では、約 3,400 冊になりました。大学や研究機関のタイ研究者、タイで業務を行う企業の方、学生、タイに興味をお持ちの個人の方などにご利用いただいております。

(6) ホームページを通じた情報発信 [共通]

ホームページを通じ、当協会の活動状況、『タイ国情報』目次、所蔵図書リストなどを提供するほか、講演会やその他の当協会活動報告など、当協会からの情報発信を行っています。

## 2. 協力事業等の実施状況

- (1) 2022年度日本タイ学会・研究大会が、2022年7月9-10日愛知大学にて開催されました。長谷川が参加し、タイ研究者による様々な発表を聴講し、『タイ国情報』の新たな執筆者の発掘に努めました。
- (2) 神田外語大学および在京タイ王国大使館共催の「第15回タイ語弁論大会」が2022年12月17日に神田外語大学、ミレニアムホールで開催されました。当協会は同大会を後援し、賞品としてタイ語関連書籍を寄贈しました。
- (3) タイ日大辞典は、出版に向けて5月の連休明けより製本作業に入っています。近日中に完成、出版の予定です。

## 3. 協会の運営状況について

### (1) 会員増減

コロナ禍に伴う景気悪化などの影響もあり、法人会員は2社減少して合計93社となりました。個人会員は5名減少して合計97名となりました（いずれも令和5年3月末現在）。個人会員はご高齢の方がご退会されるケースがございました。今後共、会員獲得に努めて参ります。

### (2) 財務基準

以下基準が未充足。

- ・遊休財産上限額の未充足（遊休財産（預金）が積みあがっている）

\*遊休財産上限額：遊休財産上限額 > 遊休財産額 である必要

（公益目的事業に要した費用額 > 資産 - 負債 - 控除対象財産 + 対応負債額）

令和3年度定時理事会でご承認いただいた支出計画を実施し、中長期的に解消を図る所存。令和4年度においても、内閣府に説明済み。

支出計画について以下項目を重点実施中。

- ・タイ日大辞典の寄贈 令和5年度予算で寄贈資金1,680,000円（28,000円×60冊）を計上。辞書完成後、寄贈のための支出開始。
- ・日本語書籍寄贈事業の拡大 令和4年度、寄贈のための日本語書籍購入額は136,490パーツと前回の65,280パーツから増額。令和3年度に実施できなかったこともあり、支出増加で対応。
- ・タイ国情報拡充 寄稿者拡大に注力。令和4年度はタイ仏教、現代文学、タイ美術を取り上げた。令和5年3月号は144ページとなる。（前年度平均134ページ）今年7月には日本タイ学会が大東文化大学で開催されるため、参加し執筆者発掘。

- ・派遣職員への支出（1名） 令和3年8月より、週2回から週3回勤務に変更。令和4年度は1年間、週3回の勤務に。

以上

## 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、記載する事項はありません。

## 令和4年度(令和5年3月期) 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

[単位:円]

科 目	当 期	令和3年度(4/3月末)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現預金			
現金	0	0	0
預貯金	18,759,710	17,537,693	1,222,017
現預金計	18,759,710	17,537,693	1,222,017
未収会費	150,000	460,000	▲ 310,000
流動資産合計	18,909,710	17,997,693	912,017
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	19,000,000	19,000,000	0
基本財産合計	19,000,000	19,000,000	0
(2) 特定資産			
使途指定特別寄附金(公2)	170,000	170,000	0
使途指定特別寄附金(公4)		229,340	▲ 229,340
特定資産合計	170,000	399,340	▲ 229,340
(3) その他固定資産			
図書館所蔵書籍	638,228	637,830	398
敷金	1,659,240	1,659,240	0
電話加入権	74,600	74,600	0
什器備品	1	1	0
その他固定資産合計	2,372,069	2,371,671	398
固定資産合計	21,542,069	21,771,011	▲ 228,942
資産合計	40,451,779	39,768,704	683,075
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	23,684	20,927	2,757
社会保険料	0	0	0
預り金計	23,684	20,927	2,757
前受会費	260,000	240,000	20,000
流動負債合計	283,684	260,927	22,757
負債合計	283,684	260,927	22,757
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	170,000	399,340	▲ 229,340
使途指定特別寄附金	170,000	399,340	▲ 229,340
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(170,000)	(399,340)	229,340
2. 一般正味財産	39,998,095	39,108,437	889,658
(うち基本財産への充当額)	(19,000,000)	(19,000,000)	0
正味財産合計	40,168,095	39,507,777	660,318
負債及び正味財産合計	40,451,779	39,768,704	683,075

## 令和4年度（令和5年3月期） 正味財産増減計算書

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

科 目	(A)		(B)		備考
	実績	3年度(4年3月期) 通年実績額	差異(A-B)		
I 一般正味財産増減の部					
1 1. 経常増減の部					
2 (1) 経常収益					
3 ①基本財産運用益	380	380	0		
4 基本財産受取利息	380	380	0		
5 ②受取会費	14,750,000	15,420,000	▲ 670,000	4年度会費260千円は前受会費に計上	
6 賛助会員受取会費	14,750,000	15,420,000	▲ 670,000	(うち法人200千円、個人60千円)	
7 ③事業収益	48,500	90,500	▲ 42,000	4年度未収会費 150千円	
8 機関誌発行・書籍発行事業	48,500	90,500	▲ 42,000	(うち法人100千円、個人50千円)	
9 講演会・セミナー事業	0	0	0		
10 図書館運営事業、他	0	0	0		
11 ④雑収益	202	21,231	▲ 21,029		
12 雑収入	0	21,048	▲ 21,048	3年度は労働保険料、還付あり	
13 受取利息	202	183	19		
14 ⑤受取寄附金	229,340	0	229,340		
15 指定正味財産からの振替	229,340	0	229,340	4年度日本語書籍寄贈(公4)書籍購入のための寄付金使用	
16 経常収益計	15,028,422	15,532,111	▲ 503,689		
17 (2) 経常費用					
18 印刷製本費	1,839,816	1,690,425	149,391		
19 書籍刊行費	0	0	0		
20 刊行物購入費	583,418	3,630	579,788		
21 諸謝金	1,572,000	1,367,000	205,000		
22 通信運搬費	754,984	600,808	154,176	協会HPのシステム対応費189千円(IEサポート終了に伴う)	
23 旅費	48,865	7,692	41,173		
24 消耗品費	104,738	83,580	21,158		
25 パーティ費	0	0	0		
26 会議費	290	108	182		
27 会場費	0	0	0		
28 大使館行事関係費	33,000	0	33,000		
29 雑支出	0	0	0		
30 臨時支出	0	0	0		
31 支払手数料	146,027	99,451	46,576		
32 賃借料	4,883,694	4,579,500	304,194	公益事業、管理費に案分 4年9月、賃貸契約更新料家賃1か月分支払い	
33 光熱水料費	410,096	417,982	▲ 7,886	公益事業、管理費に案分	
34 清掃費	26,400	26,400	0	公益事業、管理費に案分	
35 租税公課	1,920	960	960		
36 消耗什器備品費	4,910	9,207	▲ 4,297		
37 減価償却費	0	140,399	▲ 140,399	公益共通・管理費に各50%配賦(コピー複合機償却終了)	
38 役員報酬	960,000	960,000	0		
39 給与・賞与	2,710,100	2,556,375	153,725	派遣職員1名、通年週3日勤務に(前年は週2~3)	
40 通勤手当	58,904	53,730	5,174	派遣職員通勤交通費(実費)	
41 社会保険料	0	0	0		
42 福利厚生費	0	0	0		
43					
44					
45 経常費用計	14,139,162	12,597,247	1,541,915		
46 評価損益等計	0	0	0		
47 当期経常増減額	889,260	2,934,864	▲ 2,045,604		
48 2. 経常外増減の部					
49 (1) 経常外収益	398	0	398		
50 資産評価益	398	0	398	図書館事業(公5)・寄贈図書の入りに伴う評価益	
51 (2) 経常外費用	0	27,103	▲ 27,103		
52 資産除却・評価損	0	27,103	▲ 27,103	図書館事業(公5)・前期購入図書の評価替に伴う評価損	
53 当期経常外増減額	398	▲ 27,103	27,501		
54 当期一般正味財産増減額	889,658	2,907,761	▲ 2,018,103		
55 一般正味財産期首残高	39,108,437	36,200,676	2,907,761		
56 一般正味財産期末残高	39,998,095	39,108,437	889,658		
57 II 指定正味財産増減の部					
58 使途指定特別寄附金					
59 一般正味財産への振替額	229,340	0	229,340	日本語書籍寄贈(公4)寄贈書籍購入のための寄付金	
60 当期指定正味財産増減額	▲ 229,340	0	▲ 229,340	日本語書籍寄贈(公4)寄贈書籍購入のための寄付金	
61 指定正味財産期首残高	399,340	399,340	0		
62 指定正味財産期末残高	170,000	399,340	▲ 229,340		
III 正味財産期末残高	40,168,095	39,507,777	660,318		



令和4年度(令和5年3月期) 正味財産増減計算書内訳表

(令和4年4月1日 から 令和5年3月31日まで)

科 目	公益目的事業					その他事業		法人会計 (管理費)	合計	4年3月期 前期実績	差異 (A-B)	令和5年3月期 予算	差異 (A-C)
	公1(機関誌)	公2(預行)	公3(講演会)	公4(祭典)	公5(国書館)	公益共通	公益小計						
1 一般正味財産増減の部													
2 1. 経常増減の部													
3 (1) 経常収益													
4 ①基本財産運用益													
5 基本財産受取利息													
6 ②受取会費													
7 賛助会員受取会費	4,130,000	442,500	1,032,500	590,000	1,475,000	7,817,500	147,500	590,000	6,342,500	▲ 670,000	15,030,000	▲ 270,000	
8 ③事業収益													
9 機関誌発行・設備実行事業	48,500	0	0	0	0	48,500					90,500	▲ 42,000	
10 講演会・セミナー事業													
11 国書館運営事業													
12 ④譲渡益													
13 雑収入													
14 受取利息						101					21,048	▲ 21,048	0
15 ⑤受取附金													
16 指定正味財産からの取替額													
17 経常収益小計	4,178,500	442,500	1,032,500	819,340	1,475,000	8,095,821	147,981	590,000	6,342,601	▲ 503,689	15,530,990	▲ 170,000	
18 (2) 経常費用													
19 印刷製本費	1,839,816	0	0	0	0	1,839,816					1,839,816	▲ 39,816	
20 事務用買掛													
21 刊行物購入費	1,332,000	0	240,000	0	1,628	595,668	46,750	0			300,000	▲ 300,000	
22 諸謝金	160,855	80,171	120,684	0	0	1,572,000					2,140,000	▲ 1,555,882	
23 通信運搬費	10,399	5,893	7,626	0	5,546	578,030					1,760,000	▲ 188,000	
24 旅費	5,599	1,119	6,599	3,859	4,479	34,666	5,202	0	176,954	600,808	800,000	▲ 45,016	
25 消耗品費						22,396	2,241	0	14,199	7,692	500,000	▲ 451,135	
26 パワーポイント費						0	0	0	83,342	83,680	230,000	▲ 115,262	
27 会議費						0	0	0	290	109	560,000	▲ 560,000	
28 会費						0	0	0	0	182	200,000	▲ 199,719	
29 大規模修繕関係費						0	0	0	0	0	30,000	▲ 30,000	
30 雑支出						0	0	0	0	0	100,000	▲ 67,000	
31 臨時雇用						0	0	0	0	0	60,000	▲ 60,000	
32 支払手数料						0	0	0	0	0	0	0	
33 賃借料	732,554	244,184	244,184	244,184	1,465,111	73,013			73,014	99,461	200,000	▲ 55,973	
34 光熱水料費	61,514	20,504	20,504	20,504	123,082	246,058			1,953,477	4,679,500	4,579,000	304,694	
35 治外費	3,960	1,320	1,320	1,320	7,920	15,840			164,038	417,982	500,000	▲ 89,904	
36 租税公課						0	0	0	10,560	26,400	30,000	▲ 3,600	
37 消耗品運搬費						0	0	0	1,920	960	3,000	▲ 1,080	
38 減価償却費						0	0	0	4,910	9,207	800,000	▲ 395,090	
39 役員報酬	336,000	120,000	120,000	96,000	120,000	864,000			73,000	960,000	969,600	▲ 9,600	
40 給与・賞与	642,020	170,736	439,616	170,736	379,414	1,696,622	119,244	24,000	894,384	2,653,770	2,653,770	56,390	
41 通勤手当	6,890	2,945	8,835	2,945	8,835	29,450	2,945	0	26,509	53,780	58,000	904	
42 社会保険料						0	0	0	0	0	0	0	
43 福利厚生費						0	0	0	0	0	0	0	
44 経常費用小計	5,020,607	596,872	1,274,368	1,074,088	2,115,965	10,438,676	356,776	225,939	3,474,547	12,597,247	17,743,370	▲ 3,604,208	
45 経常損益合計	▲ 842,107	▲ 154,372	▲ 241,868	▲ 254,748	▲ 640,965	▲ 208,795	▲ 2,342,855	364,061	2,868,054	2,934,864	▲ 2,222,380	3,111,340	
46 課税損益合計													
47 当期経常増減額													
48 (1) 経常外収益													
49 資産評価益													
50 (2) 経常外費用													
51 管理報酬													
52 当期経常外増減額													
53 当期一般正味財産増減額	▲ 842,107	▲ 154,372	▲ 241,868	▲ 254,748	▲ 640,965	▲ 208,795	▲ 2,342,855	364,061	2,868,054	2,934,864	▲ 2,222,380	3,111,340	
54 一般正味財産増減額	4,348,448	833,647	212,629	205,828	▲ 1,197,817	3,886,948			34,519,006	36,200,676	39,140,056	▲ 31,619	
55 一般正味財産期末残高	3,503,341	679,275	▲ 29,189	▲ 48,920	▲ 2,488,384	1,044,431	1,566,544	1,866,544	37,387,060	39,103,437	36,917,676	3,080,419	
56 III 指定正味財産増減の部													
指定正味財産特別付金													
指定正味財産への振替額	170,000	0	0	229,340	0	399,340					399,340	▲ 399,340	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	229,340	0	399,340					399,340	▲ 170,000	
60 指定正味財産期末残高	170,000	0	0	229,340	0	399,340					399,340	0	
61 指定正味財産期末残高	170,000	0	0	229,340	0	399,340					399,340	0	
62 正味財産期末残高	3,503,341	849,275	▲ 29,189	▲ 48,920	▲ 2,488,384	1,214,431	1,566,544	1,866,544	37,387,060	39,307,777	36,917,676	3,250,419	

4年度前期実績	14,139,162
4年度当期実績	10,433,673
増減率	73.83%

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

平成 27 年度から「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日、平成 21 年 10 月 16 日改正、内閣府公益認定等委員会）を適用している。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、法人税法に規定する次の方式を採用している。

有形固定資産： 定額法

#### (2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおり。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	19,000,000	0	0	19,000,000
小計	19,000,000	0	0	19,000,000
特定資産				
使途指定特別寄附金 (公 2)	170,000	0	0	170,000
使途指定特別寄附金 (公 4)	229,340	0	229,340	0
小計	399,340	0	229,340	170,000
合計	19,399,340	0	229,340	19,170,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおり。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	19,000,000	( 0)	( 19,000,000)	( 0)
小計	19,000,000	( 0)	( 19,000,000)	( 0)
特定資産				
使途指定特別寄附金 (公 2)	170,000	( 170,000)	( 0)	( 0)
使途指定特別寄附金 (公 4)	0	( 0)	( 0)	( 0)
小計	170,000	( 170,000)	( 0)	( 0)
合計	19,170,000	( 170,000)	( 19,000,000)	( 0)

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおり。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
図書館所蔵書籍	638,228	0	638,228
敷金	1,659,240	0	1,659,240
電話加入権	74,600	0	74,600
什器備品			
ゼロックス複合機	702,000	701,999	1
合計	3,074,068	701,999	2,372,069

## 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおり。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
書籍刊行事業への寄附金充当額	0
日本語書籍寄贈事業の寄附金充当額	229,340
合計	229,340

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

引当金は計上していない。

## 令和4年度（令和5年3月期）財産目録

（令和5年3月31日現在）

[単位：円]

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
1 I 資産の部			
2 1. 流動資産			
3 現金			0
4 預金			
5 普通預金	三井住友銀行日本橋支店	運転資金として	2,386,530
6	三井住友銀行日本橋支店<預り口>	運転資金として	24,772
7	三菱UFJ銀行日本橋支店	運転資金として	11,792,726
8 振替貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	1,555,682
9 定期預金	三菱UFJ銀行日本橋支店	運転資金として	3,000,000
10 現預金計			18,759,710
11 未収会費	法人会員 1社 100千円 個人会員 5名 50千円	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する令和4年度会費の未収金	150,000
12			
13 流動資産計			18,909,710
14 2. 固定資産			
15 基本財産			
16 定期預金	三井住友銀行日本橋支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の事業共用の財源として使用している。	19,000,000
17 基本財産計			19,000,000
18 特定資産			
19 使途指定特別寄附金	ゆうちょ銀行	公益目的保有財産であり、タイ日辞典刊行支援の資産として管理している。	170,000
20 使途指定特別寄附金		公益目的保有財産であり、日本語書籍寄贈事業（公4）の資産として管理している。	0
21 特定資産計			170,000
22 その他固定資産			
23 図書館所蔵書籍	タイ関連書籍を中心に、図書館に所蔵する閲覧用書籍 2,123冊	公益目的保有財産であり、図書館運営事業（公5）に100%使用している。	638,228
24 敷金	三井住友銀行 内山ビル 4階	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業（公5）の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	1,659,240
25 電話加入権	NTT固定2回線	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	74,600
26 什器備品	富士ゼロックス製プリンタ複合機 DocuCenter-V C2263	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	1
27 その他固定資産計			2,372,069
28 固定資産合計			21,542,069
29 資 産 合 計			40,451,779
30 II 負債の部			
31 1. 流動負債			
32 預り金			
33 源泉所得税		執筆・講演謝金、役員報酬、給与に係る源泉所得税	23,684
34 社会保険料		健康保険料、厚生年金保険料	0
35 預り金計			23,684
36 前受会費	法人会員 1社 200千円 個人会員 6名 60千円	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する令和5年度会費	260,000
37			
38 負 債 合 計			283,684
39 正 味 財 産			40,168,095